

<活動の概要>

個人研究に関しては、昨年度から引き続き、「ラジオ研究」、「メディアと地方自治に関する研究」、「アートベースド・リサーチ」を軸に研究をすすめた。フィールド調査に関しては、下川町や斜里・網走、ブリスベン（オーストラリア）とクライストチャーチ（ニュージーランド）、神戸にて実施した。ワークショップに関しては、伊仙町（徳之島）と宇検村（奄美大島）にて実践することができた。これらの調査研究の成果は、国際学会、学術誌、紀要などで発表した。学内プロジェクト研究は、「Art of Listening」プロジェクトにて昨年同様、多様な活動を展開した。

<学内での活動>

研究プロジェクト

Art of Listening プロジェクト

2年目となるプロジェクト「Art of Listening」は、今年度は8つのイベントやリサーチ活動を実施（2つは2025年2月に実施予定）、充実した成果をあげることができた。（詳細はプロジェクト研究報告書にて報告）

個人研究・共同研究の公開

（1）ラジオに関する研究

ラジオを介したコミュニケーションをケア・コミュニケーションとして捉え、複数の事例研究を体系的にまとめた編著『ケアするラジオ～癒し、励まし、寄り添うメディアコミュニケーション』を2024年3月にさいはて社から出版した。本書に関しては、日経新聞や図書新聞、民放（オンライン）にて書評が掲載された。また、J-WAVE『ロハストーク』にて本書に関するトークが放送された。

また、音声メディアの実践として、福祉法人（いぶき福祉会）より、ポッドキャスト制作のアドバイザーとして参加している。これに関しては、新たな音声メディアの可能性として研究対象として調査も行なっている。

（2）メディアと地域自治に関する研究

2021年にNHK札幌局の番組「ローカルフレンズ滞在記」を対象として開始した「メディアと地域自治に関する調査研究」は2024年も継続し、調査研究の成果の一部は2024年7月にクライストチャーチ（ニュージーランド）で開催された国際メディアコミュニケーション研究学会（International Association for Media and Communication Research）にてメンバーと共に発表した。このテーマに関しては、2025年も調査を継続し、長期的な視点から分析しなおしたものを最終的に論文としてまとめていく予定である。

（３）アートベース・リサーチ研究

2023 年より University of Highlands and Islands Inverness の研究者たち始めたプロジェクト”Participatory arts methods and coastal resilience in the North West Highlands and the Amami Islands”の一貫として、2024 年 3 月に徳之島（伊仙町）と奄美大島（宇検村）にて、この手法を用いたワークショップを UHI の研究者と共に実践した。

また、2023 年度に実施した「葦の芸術原野祭」や「奥能登国際芸術祭」など複数のアートプロジェクトの視察や地域におけるアートベース・リサーチについて考察をまとめた論考「Arts-Based Research による地域の記憶——2023 年度の視察から」を、2023 年度の本学紀要(2024 年 3 月刊行)に掲載した。

（４）その他活動

今年度も池田町有線放送電話プロジェクトとして、アーカイブを用いた活動を行った。8 月に「河野大助の画業とその生涯～鎮魂～」展覧会（土川商店「場所かさじゅう」）にて仏画を描いてきた河野大助の仏像画や絵葉書の展示とともに、池田町有線放送の戦争体験記を聴ける展示を行った。

また、清流の国ぎふ文化祭 2024 「DX 時代のメディア表現——新しい日常から芸術を思考する」にて「池田町有線放送アーカイブ」と題して展示した。さらに、岐阜県池田高校の地域探求学習において、「池田町有線放送の活用」を地域課題の一つとして取り上げてもらい、課題に対する解決方法を高校生たちに提案してもらい、若い世代につなぐ良い機会となった。

市民メディフェス 2024 (立命館大学)にて、さかの映像祭委員として、さかの映像祭に関する展示を行なった。その他、ラジオとケア、地域とアートなど、研究テーマに関連したレクチャーを依頼されて実施した。

著書・学会発表・講演など

金山智子(編)『ケアするラジオ: 寄り添うメディア・コミュニケーション』
さいはて社 (2024 年 3 月)

金山智子「Arts-Based Research による地域の記憶—2023 年度の視察から」
情報科学芸術大学院大学 第 15 巻 2024 年 3 月

KANAYAMA Tomoko and OHSUMI Ryo “The Value of Public
Broadcasting in a Network Era: A Case Study of TV Show “A Travel
Journey with Local Friends” by Actor-Network Theory”
Communication Review, 46: 23-44, 2024

金山智子, サラ・ワグナー「島のお年寄りの物語を詩と写真で伝える」令和
5 年度 「いせん寺子屋」 ～奄美群島日本復帰 70 周年～ 2024 年 3 月

金山智子「人新世時代と地域の見方・見え方～岐阜県根尾の事例から考える」はたやブックレット 13『わが家の「はた織りさん」と農山村の織物―地域を多様な視点でみるために―』13 2024 年 3 月

金山智子 書評「大災害とラジオー共感放送の可能性」図書新聞 2024 年 5 月

金山智子「1500 年続く山の集落から学ぶ 人新世におけるコミュニティ・レジリエンス」ヤマノカゼ舎：春の特集「自然と生きる知恵」トークライブ 2024 年 5 月

KANAYAMA Tomoko and OHSUMI Ryo “Finding a Direction through Co-Creation with Residents : A Case Study of the TV program “Local Friends” of NHK” International Association for Media and Communication Research (Christchurch) July 2024

WAGNER, Sarah and KANAYAMA Tomoko “Weavings of Amamian and Hebridean storytelling: Negotiating and reflecting on digitalisation in and through community arts” (visual art) International Association for Media and Communication Research (Christchurch) July 2024

KANAYAMA Tomoko “Weavings of Amamian and Hebridean storytelling: Negotiating and reflecting on digitalization in and through community arts” The Ascent of Community and Activist Media: Theorizing the turn to counter-power media and communication (Gold Coast) June 2024

金山智子「メディアを活用した地域コミュニティ創造：ラジオ番組制作で考える地域づくりの可能性」日本福祉大学インターンシップ・プログラム（社会福祉法人いぶき福祉会主催）2024 年 8 月

金山智子「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜公開講座「岐阜に生きる岐阜と生きる」2024 年 11 月

金山智子「メディアとケア～お菓子とラジオと防災と～」第 2 回ケアリングカフェ（社会福祉法人いぶき福祉会主催）2024 年 12 月

その他 社会活動など

- 岐阜北高校「地域探求」第二期担当
- 池田高校「地域探求」課題担当
- 岐阜県「清流の国ぎふ」SDGs 推進会議 座長
- 岐阜県「清流の国ぎふ」創生総合戦略推進会議 委員
- 2024 年全国広報コンクール審査 審査委員
- さがの映像祭実行委員会委員（デフムービー）および映画祭審査委員
- 公益財団法人石橋財団 評議員および寄付助成選考委員

- Keio Communication Review Editorial Advisory Board
- 特定非営利活動法人地域魅力 監事
- 一般社団法人むれらば 代表理事

研究助成

- グレイトブリテン・ササカワ財団
- The Royal Society of Edinburgh Research Award
- 大和日英基金